

2025年1月1日付

運輸安全マネジメントに関する取り組み

2025年度（令和7年1月1日～令和7年12月31日）

当社は運輸安全マネジメントの推進が運輸事業経営の根幹と位置付け、輸送の安全確保が最も重要であると再認識し、絶えず輸送の安全性の向上に努める様、「**輸送の安全に関する基本方針**」を定めました。

社長が最終的な責任を有する組織を明確にし、経営トップから全社員（事務職も含む）が一丸となって安全に関する目標と計画を作成し、情報の共有や伝達をしっかりと行いながら、業務の改善を継続的に行い記録などを管理する事により、安全性の確保と向上に取り組んでいきます。

1 輸送の安全に関する基本方針

- ・ 社長は輸送の安全の確保が事業経営の根幹であることを深く認識し、社内において安全の確保に主導的な役割を果たします。
- ・ 現場における安全に関する声には真摯に耳を傾け、現場の状況を十分に踏まえ、全社員に対し安全の確保が最も重要であるという意識を徹底させます。
- ・ 人命尊重＝人命第一主義を最優先テーマとし、「安全・安心運転」を目標に掲げます。

以上を実行に移す為、次による「**輸送の安全に関する安全方針**」を掲げ、安全意識の高揚を図ってまいります。

（株）晃正 輸送部は創設以来よりの永年の目標が下記に示す、

【輸送の安全は当社の最高の仕事である】

【人命尊重＝人命第一主義】

であり、先ずは人々の安全を守ること。その為には自動車の安全な運転は大変重要な使命を担っているという事を決して忘れない。

- ・ 輸送の安全に関する計画の策定、実行、チェック、改善（Plan Do Check Act）を実施し、安全対策を不断に見直す事により、全員が一丸となって業務を遂行するため、絶えず輸送の安全性の向上に努めます。又、輸送の安全に関する情報については積極的に公表いたします。

2 輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況

令和5年度の安全目標として「ながら運転事故0（ゼロ）」・「ヒューマンエラー事故0（ゼロ）」・「体調異変事故0（ゼロ）」を掲げ、安全意識の高揚を図り、交通事故0（ゼロ）を目指します。

交通事故0（ゼロ）を最重要目標に掲げます。

3 自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

令和6年度における該当事故は下記のとおりです。

自動車事故報告 1件 （車輛物損1件）

4 輸送の安全に対する組織体制及び指揮命令系統

別紙（1）のとおりとします。

5 輸送の安全に関する施策

- ・ 輸送の安全が最も重要であるという意識を徹底し、関係法令及び各規程に定められた事項を遵守する。
- ・ 安全に関する費用支出、投資を業績に応じ積極的に行う様に努めます。
- ・ 輸送の安全に関する会議を行い、必要な是正措置または予防措置を講じていく。
- ・ 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、社内において必要な情報を伝達・共有すること。
- ・ 輸送の安全に関する教育及び研修に関する具体的な計画を策定し、これを実施する。

6 輸送の安全に関する計画

- ・ 教育計画に基づいた指導・教育を実施します。
- ・ 社外各種講習会・無事故無違反者表彰（5年）・安全診断・講習会等の参加については実施を行う予算を計上します。
- ・ アルコール検知器の義務化に伴い、検査機が確実に作動する事の点検を実施し、適正な検査で飲酒運転撲滅に向けて徹底します。
- ・ 発生した事故の直接・あるいは間接的な原因を追究し、その原因に見合った事故防止対策を決定し、社員へ通達、教育し再発防止に努めます。

7 輸送の安全に関する予算計上

無事故無違反者表彰に関する費用（5年間無事故者）	（該当者なし）
適性診断、健康診断の受診、講習料	80000円
必要装備の導入・維持費用	30000円

8 事故・災害等に関する報告連絡体制

別紙（2）のとおりとします。

9 輸送の安全に関する教育と研修計画

- ・ 安全対策会議実施
年間2回（概ね6ヶ月に1回）全員で会議を開催し、時流に沿った安全問題や安全の確保についての自覚を促すとともに、事故0（ゼロ）、安全輸送の在り方を図

ります。

- 事故審議会の実施
実例事故を基に、原因究明（なぜなぜ分析等）、再発防止策について審議を行い、事故防止を図ります。
- ヒヤリハット報告会
全社員に対して、オープンスタイル（雑談風）でのヒヤリハットの体験談を報告させ、原因と対策、その時の対応などを共有し以後の運転に活かせる様に指導します。
- ドライブレコーダーの活用
ドライブレコーダーによる危険な映像や事故例をもとに、全員に対し教育資料として有効に活用します。
又、当該乗務員の運転状態をチェックすることで、事故原因・再発防止のヒントとなるので、大変有効と判断でき、今後は最終的に全車両への導入を検討します。
- 健康診断結果に基づく管理
定期健康診断結果に基づいた再検診者への再検査実施については、社長は再検診を優先する様指示・命令し、健康管理面からの間接的な事故防止に尽力を尽くす。併せて、危険因子を持つ乗務員に対し、健康管理の指導を実施します。
- 運輸安全マネジメント講習会への参加
N A S V A等の主催による講習会等へ可能な限り参加し知識・実務の向上を図ります。

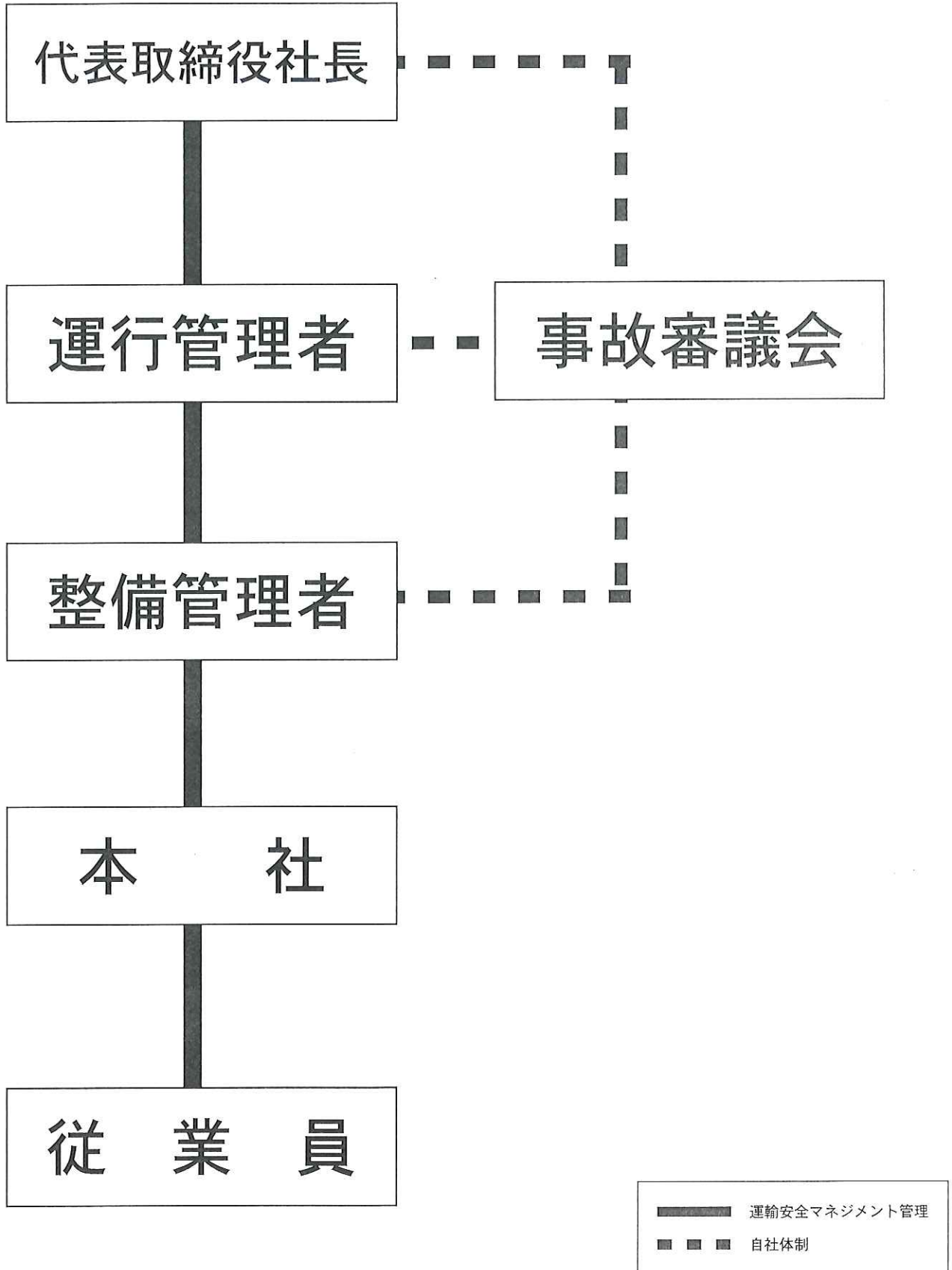
10 輸送の安全に関する事故審議会結果とそれを踏まえた指導

当社内にて令和6年度の目標の設定、輸送の安全に関する基本方針の更なる徹底と引き続き是正措置または予防措置を講じていく事を確認し完了しております。

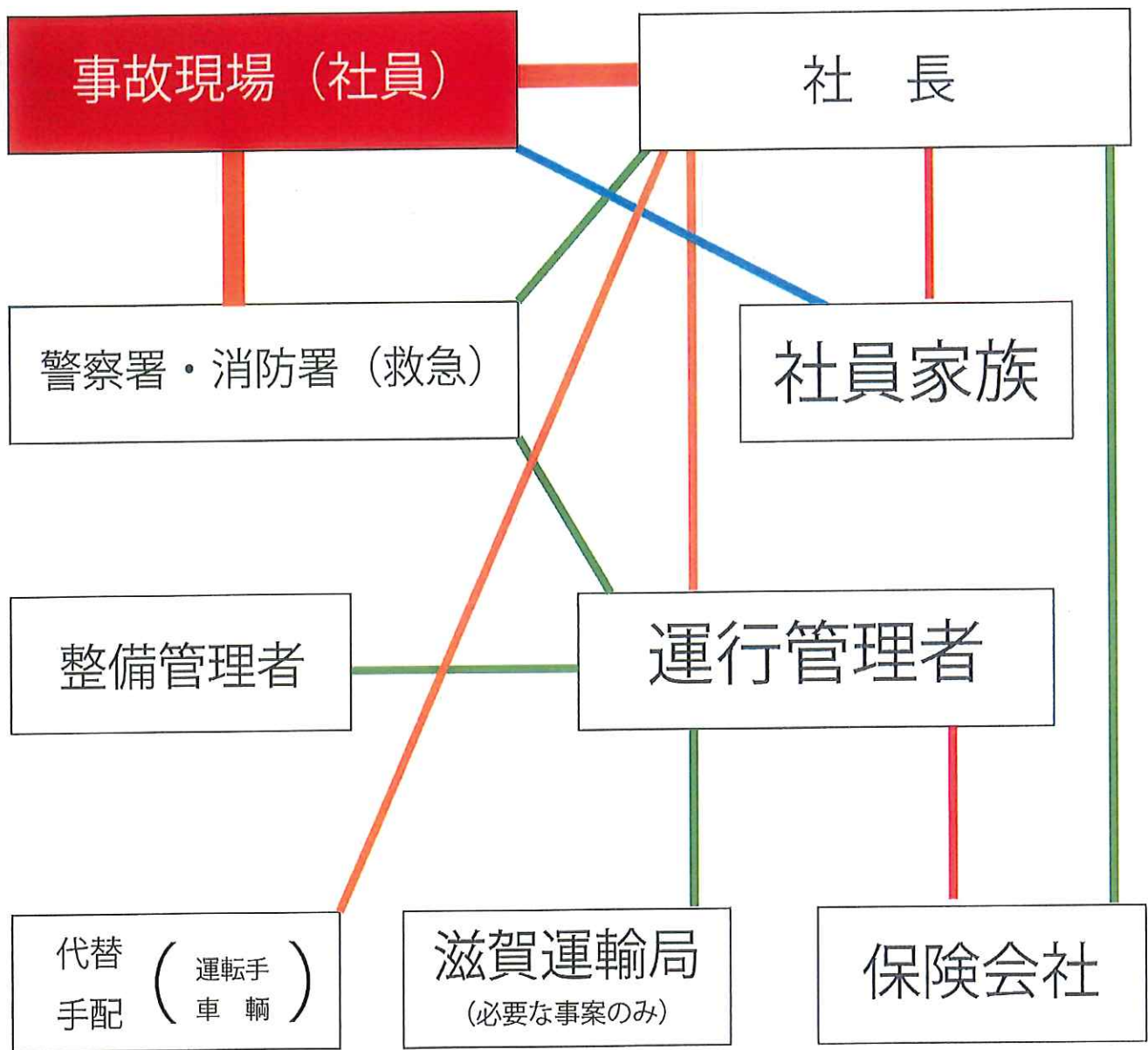
以上

株式会社晃正
運行管理者 高木 栄二
代表取締役社長 大西 章雄

晃正 安全管理体制図



別紙 (2) 連絡体制



- 必須
- 最優先
- 状況次第
- 任意